



半澤彰浩さん
生活クラブ神奈川専務理事
大河原まさこ全国勝手連事務局

この国にとっての転換点となる参議院選挙は、持続可能な社会へのスタートライン。共に頑張りたい。

生活クラブは社会の問題解決のために対案を出して闘う生協。私たちの声をとどける議員が必要。共感の和を広げていきましょう。



田中のり子さん
生活クラブ・東京副理事長
東京勝手連



荻原妙子さん
かながわ生き活き市民基金副理事長

基金を通じ、多くの貧困問題に出会った。解決のために市民社会の力と、その力を後押しする政策制度が必要。大河原まさこさんとともに新しい社会を作っていきたい。

全国のローカルパーティのメンバーと共に闘える。一人ひとりが声をあげて大河原まさこさんを国会へ。



西崎光子さん
東京・生活者ネットワーク代表委員
都議

私も応援しています

全国市民政治ネットワーク全国交流集会 2016

共に生きる社会をめざして

第1分科会 ピースリングツアー（横須賀コース・県央コース）

横須賀コースは、横須賀海軍施設・池子米軍住宅・横浜ノースドッグを、県央コースでは、相模総合補給廠・厚木海軍飛行場・キャンプ座間を巡りました。参加者からは、「原子力空母ロナルドレーガンが存在することの危険性や、巡洋艦・駆逐艦がイラク戦争にトマホークを撃ち込んだ話を聞き、母港化している



▲フェンス越しにキャンプ座間を臨む



現実に衝撃を受けた」「首都圏に米軍の重要な基地があること、住民の生活のすぐ隣に戦場に直結する基地がある危険性や日米地位協定の理不尽さを体験したツアーだった」といった声が聞かれました。

第2分科会 福祉ツアー「ワーカーズ・コレクティブがつくる地域福祉」



▲きらり港北

▼ピッピー保育園にて



「きらり港北」（港北区／福祉クラブ生協）と「ピッピー保育園」（青葉区／ピッピー親子サポートネット）を訪問。「福祉クラブ生協」は、福祉サービスのワーカーズを1989年から創り出してきました。現在、高齢者・子ども・就労困難な若者を対象に、18業種107団体が活動。複合型施設「きらり港北」を拠点として、充実した在宅福祉のサービスを提供しています。

ピッピー親子サポートネットは、2005年から一時保育にこだわる認可保育所をスタート。障がいをもつ子どもの居場所づくり事業や介護保険事業など6拠点で11事業を実施しています。

現場のニーズに向き合い制度提案にも取組むNPOの活動が、安心できる地域づくりにつながっています。

第3分科会 ローカルパーティと議会改革

所沢市議会の政策討論会の実現に向けた取組みや、越谷市議からは育休のあり方についての提案、北海道江別市からは、副議長の一般質問のあり方について報告。神奈川ネットからは、市民参加アクションとして進めた「議会傍聴」や、議会基本条例の制定前後の変化について報告を行いました。議会傍聴レポートからピックアップした「びっくりポンな議会アワード2016」に、たくさんのリアクションがありました。



第4分科会 調査活動を政策提案へ

神奈川からは介護保険に関わる調査と、子ども・若者に関わる制度の状況調査、東京からは生き物調査など自然環境の調査の報告でした。まちに出ることは課題を発見し、調査を進めることは参加を拡げることにつながります。ネットの活動の基本である「現場に出て、現場の声を制度に活かす」ことを再確認できた分科会でした。

第5分科会 地域から進める政治参加「若者と政治をつなぐ」

NPO法人YouthCreate 代表の原田謙介さんをはじめ、(株)VoiceJapanの高橋茂さん、神奈川大学非常勤講師の小川泰子さん、そして現役大学生の佐々木唯人さん、大河原まさこさん（前参議院議員）、青木マキさん（横浜市議）をパネラーに迎え「若者と政治をつなぐ」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

原田さんは「まず選挙に行こう！ではなく、入口には自分ごとが必要」と指摘されました。政治家の言葉が生活感あふれるものであれば、もっと政治を自分ごとを感じる人は増えるはずです。「若者は政治に関心がないわけでも、軽視しているわけでもない。スイッチを押してあげればちゃんと政治と繋がる」とのメッセージにローカルパーティの役割も再確認しました。



所属常任委員会が決まりました

佐々木ゆみこ（宮前ネット/県議）

県議会だより

神奈川県議会には、8つの常任委員会があり、議案や請願・陳情の審査を行います。格差が広がる中、働きたくても働けない若者の支援に向け、労働問題を審査する産業労働常任委員会に所属しました。今後、困難を抱える若者の課題を取り上げていきます。

夏の参院選を前にして、再度消費税増税が延期された。アベノミクスでは一部の富裕層は恩恵を受けたが、賃金への波及は限られ、輸入物価上昇による幅広い値上げで消費は低迷している▼年金・介護・健康保険といった国の財政が抱える問題への将来不安が背景にある限り、延期しても消費回復は望めない▼人口減少と超高齢化の加速という構造的課題に直面する中で、目先の景気回復や選挙対策に留まらず、少子化対策の実行のためにも、消費税の引き上げの是非を争点化すべきだ。

(C・M)

編集後記

神奈川ネットは、地域政党です。生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。



今月の神奈川ネット

■市民の生活・活動法律相談：6/15・7/20(水) ■第4回運営委員会：6/28(火) ■介護保険フォーラムin座間：7/18(祝・月)